

学習内容報告書 フォーマット

学校名	南あわじ市立沼島小学校
授業者	羽石 瑛

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

沼島の海の未来を考えよう

1-2. 学年

5・6年（複式学級）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

1-4. 単元の概要

5・6年生は、総合的な学習の時間に、沼島の未来の環境について課題を決めて学習を進めていく。

「海洋ゴミ問題」を中心に環境問題について調べ学習を行って、課題解決に向けて活動を進めていく。沼島海水浴場の「海洋ゴミ」から、どこから来ているのか、どうしてゴミが多くあるのか等、自ら課題を決めて探究的な学習を行う。また、活動を通してわかったことや考えたことを整理し、発表原稿にまとめ学校の集会活動でまとめたものを紹介する。

1・2年生と同様に、より沼島の海を楽しむ活動として総合的な学習の時間で「カヌー体験」を行う。子どもたちは海に囲まれて住んでいながら、海水浴以外、あまり海を楽しむ機会がない。2年目であるので、高学年として低学年に子に漕ぎ方を教えたり、一緒にカヌーに乗ったりという協働的な学びが得られるようにする。さらに、海の恵みを体感するために「魚料理体験」を実施する。地元で捕れた魚を、講師である漁師さんの手ほどきで、子ども自身が魚を1匹さばく体験を行う。魚をさわる経験が少ない児童が、料理を通じて魚にふれて、親しむ機会として設定している。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

沼島の海から、世界的な環境問題について考えられるように単元を設定する。ゴミ問題は、身近な問題として沼島にあり、海水浴場にもたくさんのゴミが打ち上げられている。身近なところから出発して、世界の県境問題に目を向けさせるために単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

身近な問題から、学習の課題を見つけ、自ら解決していこうとする資質を養う。

解決する方法を見つける手段として人に聞いたり、インターネットで調べたりする能力を培う。

自らの問題として、進んで解決へ向け行動していこうとする児童の育成を図る。

海の未来を考える活動を行うことで、海や自然の素晴らしさに気付き、大事にする気持ちを高める。

1-7. 単元の展開（全19時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
10	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>沼島の海の未来を考えよう（調べ学習）</p> <p>1 海岸清掃を行う。</p> <p>2 ゴムの分別、種類から考えられること</p> <p>3 ゴミがどこから来ているか。</p> <p>4 マイクロプラスチックについて</p> <p>5 沼島の海をきれいにするには。</p>	<p>教師の指導／海岸清掃で多くのゴミがあることについて気づかせる。問題点を考えさせる。</p> <p>外部連携／PTAといっしょに活動を行う。</p> <p>使用教材／特になし</p> <p>評価／ゴミの分別に興味を持って活動できたか。その原因と解決方法について考えられたか。</p>
3	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>釣りをして沼島の自然と触れ合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り体験 ・魚の名前を知る ・魚の色・形の観察 	<p>教師の指導／安全指導と釣り方の指導。救命胴衣の着用</p> <p>外部連携／地元の方に来ていただき釣り方の指導をしていただく。</p> <p>使用教材等／釣り具セット・救命胴衣</p> <p>評価／自分の釣った魚をさわって、親しむことができたか。</p>
4	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>沼島の海を楽しもう（カヌー体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヌーの漕ぎ方を知る。 ・カヌーの漕ぎ方を低学年に教える。 ・カヌーに低学年と一緒に乗る。 ・カヌーの楽しみ方を工夫する。 	<p>教師の指導／安全指導・救命胴衣の着用</p> <p>外部連携／カヌー指導員からカヌーの漕ぎ方などを教えてもらう。</p> <p>使用教材／カヌー4艇・救命胴衣</p> <p>評価／友だちと協力してカヌーをこげたか。カヌーに楽しんで乗れたか。</p>
2	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p>沼島の海のめぐみ（魚料理体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚の料理方法を知る。 ・自分で魚を料理する。 ・料理したものを食べる ・感想をノートに書く 	<p>教師の指導／安全指導・児童の指導補助</p> <p>外部連携／沼島漁業協同組合の方に来ていただき指導いただく。沼島でその日に獲れた魚を持ってきてもらい、調理の仕方を教えていただく。</p> <p>使用教材／包丁・調理ばさみ・まな板・地元の魚</p> <p>評価／自分で魚をさわって、調理体験ができたか。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

力を合わせてカヌーをこぐことでチャレンジ精神、仲間と協力する力をつける。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 準備体操 ・腕をしっかりと回しておく。 ・心と体の準備を行う。	○しっかり準備運動させる。 声も出させるようにする。体調のチェックも行う。
2 バディーの確認を行う。 ・2人1組でバディーを組む。 ・安全確認をお互いに行うことを知る。 ・息を合わせかけ声をかける練習をする。	○バディーは安全のためなので、きっちりと組めているか、声かけができているかをチェックする。
3 カヌーのオールの漕ぎ方を知る。 ・手に持たずにやってみる。 ・オールを持って陸でやってみる。 ・低学年の子にも教える。	○「かい」の面が水面に対し直角になるようにする。 きちんと入水できるかをチェックする。 【評価】きちんと回せているか。できなくてもねばり強く正しい漕ぎ方になるように挑戦しているか。 (知・技)
4 カヌーの乗り方を知る。 ・水辺に出てオールを使って乗る。 ・教師が補助をして乗る。 ・2人乗りカヌーに低学年の子と乗る。	○高学年は、低学年の子と組ませるようにする。
5 目標物を回ったり、工夫して漕いだりする ・慣れてきたら目標物（ブイ）を旋回してくる。 ・いろんな乗り方をしてみる。 バック、旋回、片手で等	○安全に漕げているかどうかチェックする。 工夫して乗っている児童を評価する。 【評価】工夫した乗り方をしている（主体的）
7 まとめ	【評価】友だちのカヌーのことも考えコースを選んでいるか。（思考判断）

3. 今回の活動の自己評価

海の上をカヌーに乗って自由に動き回る爽快感をそれぞれの児童が味わうことができた。海を楽しもうという目標が達成できた。また、高学年の児童はスキルが上がってきているので、低学年の子に教えたり、一緒に乗ったりと、協働的な学習を取り入れて実践を行った。普段から全校生で活動しているためスムーズに教え合いが行えた。カヌーを漕ぐという体験は、ねばり強く課題に挑戦する力の育成にたいへん効果的であった。特に低学年の児童にとってはオールがたいへん重く、最初はうまく漕げない状態であったが、高学年の子が教えることでだいぶ上手になってきた。小規模校のよさを取り入れて異学年で教え合うことで、お互いの「生きる力」の育成もできていた。

5・6年生は、2人乗りカヌーの後ろに乗って体験した。前には、1年生の児童が乗った。低学年の子のオールのリズムを合わせてあげるなど、他者と協調する力の育成も図れた。後ろの5・6年生がリズムを合わすことで、2人の漕ぎ方が合い、どんどん前に進むようになっていった。カヌーの体験であるが、このように多くの成果を得ることができた。

4. 今後の課題

今回は、カヌーに乗って漕ぐということを目指した。しかし、それが達成できたので、次の目標を設定する必要がある。

次の目標としては、もっと様々な乗り方に挑戦することである。何名まで乗れるか、立って乗れるか等、安全面に配慮しつつも、さらに海を楽しむには、どんな乗り方があるかを考えさせ、活動の幅を広げたい。カヌー体験を通じて、創意工夫でき、達成感を得る体験ができたらと考えている。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

実践写真 【全校生 海を楽しもう】



7/27 カヌー体験



7/27 カヌー体験



7/27 カヌー体験

実践写真 【5・6年生 海を守ろう学習】



1 / 19 海洋ゴミの分別

現状と課題		
P 良いところ	M 悪いところ	I 面白いところ
<p>海のゴミを集めるところがある</p> <p>学校でゴミ拾いがある</p> <p>みんな買い物は自分のカバンを持っていく</p> <p>魚は取れる</p> <p>山や海が多い</p> <p>植樹をしている？していた？</p>	<p>ゴミがいっぱい</p> <p>ゴミが多い</p> <p>ゴミを捨てる場所がない</p> <p>山にもゴミがある</p> <p>イノシシがいる</p> <p>ナルトサワギクが多い</p> <p>学校以外でナルトサワギクを抜いている人が少ない</p>	<p>観光客・釣り人が多い</p> <p>海は綺麗なのでしょうか？</p>

※ 海洋ゴミ問題を思考スキル（PMI）を使ってクラスでまとめた画面